

教育×福祉シンポジウム

6歳から20歳

の支援と進学

ー 特性を持つ子どもの大学進学までをどう支えるかー

発達に特性のある、あるいは診断名が見つからない“グレーゾーン”の子どもたちは、義務教育期間から高校、大学進学に至るまで、それぞれの段階で様々な困難を抱えることがあります。小学校入学後の戸惑いや、周囲との関わりでのつまづき、不登校などの課題が進学に影響し、保護者は「この子は高校に行けるのか」「将来はどうなるのか」といった大きな不安を抱えています。

本シンポジウムでは、6歳から20歳までの発達段階に沿って、支援者・教育関係者・行政担当者が登壇し、それぞれの立場から支援の現状・課題・成功事例を共有します。支援の継続性や、学校・家庭・地域がどう連携していくかを見つめ直す場とし、「子どもたちの選べる未来」を地域全体で支えていくための足がかりとすることを目的としています。

登壇テーマ・登壇者

【不登校児童生徒に対する居場所提供】

山岡亜矢氏 豊橋市教育委員会 学校教育課指導主事

【官と民・福祉と教育の情報連携】

廣田泰彦氏 アンドアップグループ 代表取締役

【個々のニーズにあった柔軟な対応】

山口永晃氏 豊橋市立豊橋高等学校 学年主任

【通信と通学のハイブリッド・選択肢の提供】

和田裕介氏 愛知県立御津あおば高等学校
通信制課程 教頭

【進路選択と特性のある子の挑戦】

花岡幹明 豊橋創造大学短期大学部
キャリアプランニング科 学科長

※登壇テーマ等は変更となる場合があります。予めご了承ください。

2025年
11月29日(土)

10:00～12:00

@豊橋創造大学 A21教室

参加費無料（事前申し込み制）

定員200名（先着順）

申込はこちらの
フォームから
→



～プログラム～
開会挨拶
登壇

意見交換・質疑応答
閉会挨拶

主催：豊橋創造大学短期大学部 後援：豊橋市教育委員会

Care & Idea

豊橋創造大学短期大学部

お問い合わせ先:0532-54-9550

y-ihara@sozo.ac.jp

豊橋創造大学短期大学部(担当:井原)